

2023 年度 大学院秋季入試（法律学専攻）

博士課程（前期）

専門科目 経済法

---

【合否判定の方法】

・一般1方式《外国語科目》《専攻科目》《面接》

提出書類、外国語科目と専攻科目の筆記試験の成績、および面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

一般2方式《専門科目》《専攻科目》《面接》

提出書類、専門科目と専攻科目の筆記試験の成績、および面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

法律学専攻の入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、提出書類、筆記試験の結果、および面接の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士前期課程における研究遂行能力の有無を判断する。

1 試験日 2022 年 10 月 1 日

2 科目 経済法 (100 点満点)

3 出題意図

大学院において経済法を専攻し、修士論文を執筆するためには法令の解釈のみならず、審決・判例の精緻な分析、比較検討をすることが必要になる。そのため、問題文に提示された事実関係を正確に読み取り、行為要件・違法要件に照らして判断し、結論を導くことが重要である。

本問は、有力な小売業者による納入業者に対する優越的地位の濫用と、それを梃子にした廉売を独禁法上どのように評価すべきかを問うものである。

以上